

北海道アウトドアフォーラム 2017

～参加の手引き～

この度は国立日高青少年自然の家の主催事業にご参加いただき、ありがとうございます。当日までの確認・連絡事項を記載いたしますので、内容をご確認のうえ準備をお願いします。

プログラム

9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
10/30 月			受付	開会	基調講演	事務連絡 写真撮影 移動	プレゼンテーション ポスターセッション		休憩・入浴 自由交流		情報交換会	
10/31 火	選択ワークショップ I	移動	選択ワークショップ II	移動	昼食	選択ワークショップ III	移動	閉会				
9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21

- 受付開始 10月30日（月） 12：00 場所：国立日高青少年自然の家 サンゴの家前
※31日（火）日帰り受付 08:30～08:50
- 開 場 同 12：00 ※展示会場も 12：00 に開場します。
- 開 会 同 13：05 ※5分前までに会場にお入りください。
- 閉 会 10月31日（火） 15：00 ※時間は多少前後する場合があります。

ワークショップ参加希望

2日目の選択ワークショップについては、事前に希望内容を確認し、人数を調整させていただきます。8ページ以降の発表要旨をお読みになり、ウェブサイトの選択フォームにて、各時間帯の第1～第3希望まで選択してください。

選択期限 10/20（金）まで

URL：<https://www.niye.go.jp/entry/app/event/apply/1312>

- ※ 期限を過ぎるとフォームからは選択できません。
- ※ 希望の選択が確認できない場合、事務局で割り振らせていただきます。

費 用

参加費は以下のとおりです。当日受付にて現金でお支払いください。

項目	金額	含まれるもの
参加費（全日程） ※小学生以下は資料代不要 ※3歳以下は食事代無料	1,600円	・食事2食（31日朝430円、31日昼570円） ・シーツ等洗濯料（200円）・資料代（200円） ・保険代（200円） ※30日の夕食（兼情報交換会）は含みません。
参加費（30日のみ）	200円	・資料代
参加費（31日のみ）	400円	・資料代 ・保険代（200円） ※昼食希望の場合、570円が別途必要です。
情報交換会費	3,500円	・飲み物、30日夕食代込み ※自由参加

<遅刻・欠席等のご連絡、お問合せ先>

国立日高青少年自然の家（担当：鈴木、中西、山口）

電話：01457-6-2311 メール：hidaka-hp@niye.go.jp

キャンセル

参加キャンセルの連絡は早めをお願いします。**10月27日(金) 12:00**以降のキャンセルについては、一部キャンセル料がかかります(食事代・保険代等)。キャンセル連絡時に金額を確認し、現金書留で下記住所までお送りください。

連絡先：(01457) 6-2311 担当：鈴木、中西、山口

送付先：〒055-2315 北海道沙流郡日高町字富岡 国立日高青少年自然の家

持ち物

チェック	全 員	
	参加の手引き	この資料です。
	上靴(上履き)	ケガ防止や緊急時避難のため、館内では上靴の着用をお願いします。
	洗面用具	ボディソープ、リンスインシャンプーは備え付けがあります。
	着替え・タオル	タオルの備え付け、貸出はありません。
	防寒着	館内でも場所や時間帯によっては寒いことがあります。ひざ掛けやフリースなどをご持参ください。
	保険証	コピーでも可能です。
	筆記用具	
	名刺	情報交換会での配布用にお持ちください。
	参加費	お釣りのないようにご準備ください。
チェック	体験型ワークショップ(80分) ご参加の方	
	野外で活動できる服装	帽子、手袋(軍手可)、レインウェア、防寒着(フリース、ダウン、ニット帽など)、運動靴 ※汚れてもよい動きやすい服装で

情報コーナーについて

ポスターセッション&展示会場に、資料設置スペースおよび情報掲示板を設けます。団体や活動内容についての紹介資料や、講座・イベント情報、人材募集等の告知資料があればお持ちください。事前申し込みは必要ありません。なお、会場での販売行為はできませんのでご了承ください。

情報交換会

参加される場合、会費として別途 3,500 円を徴収します。参加費と合わせて、受付にてお支払いください。夕食を兼ねたオードブル形式の食事と、飲み物(アルコール類、ソフトドリンク等)をご用意します。各地の名産品(飲み物や二次会用のおつまみ等)の差し入れも歓迎します。

個人情報の取り扱い

お申し込みの際にいただいた個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」等に基づき、適切に管理し、本自然の家に関する事務のみに使用し、法令等に定める場合を除いて、第三者に開示することはありません。

また、本事業中に撮影した写真や映像は、当機構の事業報告や広報資料、ホームページ等に掲載することがありますのでご了承ください。

交 通

<公共交通> 占冠駅から送迎バスまたは日高町営バス利用(終点日高総合支所から徒歩 15 分)
※占冠駅は停車時間が短いため、乗り過ごしにご注意ください。

<送迎バス> 占冠駅から下記の便に合わせて送迎バスを運行します。

※申込受付時に希望者がいない場合は運行しません。

【行き】 12:30 占冠発 12:55 自然の家着

- ・札幌方面から 10:24 札幌発 11:57 占冠着 特急スーパーとかち 3号帯広行
- ・帯広方面から 11:10 帯広発 12:26 占冠着 特急スーパーとかち 6号札幌行

【帰り】 15:05 自然の家発 15:50 トナム駅着

- ・札幌方面へ 16:12 トナム発 17:56 札幌着 特急スーパーおおぞら 8号札幌行
- ・帯広方面へ 15:58 トナム発 16:59 帯広着 特急スーパーおおぞら 7号釧路行

※それ以外の時間帯は日高町営バスまたは日高ハイヤーをご利用ください。

<http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/site/busjikoku/hidakamonbetsu.html>

日高ハイヤー 01457-6-7107

＜自家用車＞道東自動車道占冠 IC から約 16km

※台風による大雨の影響で、ひだか高原荘から自然の家への道の一部が通行止めになっています。う回路が設置されていますので、表示に沿って通行してください。

※現在、国道 274 号線は清水町清水～日高町千栄の区間（日勝峠）が通行止めですが、10 月末までに解除の予定です。

＜駐車場＞自家用車は利用者駐車場に駐車してください。正面玄関前ロータリーは、乗降や荷物の積み下ろしのための一時的な停車のみでお願いします。

＜会場案内図＞



前泊・後泊について

遠方の方は前泊（10/29）、後泊（10/31）も可能です。食事の希望の有無（前泊：10/30 朝食、後泊：10/31 夕食・11/1 朝食）も合わせ、10/15（日）までに事務局へご連絡ください。

電話：01457-6-2311 メール：hidaka-hp@niye.go.jp（担当：鈴木、中西、山口）

発表者&発表要旨

○基調講演（75分）

テーマ	北海道における山岳遭難の現状と対策
講師	西村 和隆 氏（北海道警察山岳遭難救助隊対策官）
紹介文	北海道で発生している山岳遭難の現状について、実際の救助の現場の様子や、救助者目線から見た対策についてお話しいただきます。また、8月末に発生した幌尻岳の遭難事例や山岳以外の遭難事例についてもお話しいただきます。

○プレゼンテーション（10分×16題 ※サンゴの家・大研修室）

時間/会場		I（会場：サンゴの家）	II（会場：大研修室）
①15:15 ~15:25	タイトル	“アウトドア”を活かした 地域おこし事例	旭山動物園と富良野自然塾 の連携例
	発表者	寺部 千絵 南十勝長期宿泊体験交流協議会	鈴木 悠太 旭山動物園
②15:30 ~15:40	タイトル	インバウンド新時代 さらに北海道の価値を高めるとき	環境ポータルサイト「BLUE SHIP」の活用について
	発表者	林 直樹 北海道宝島旅行社	小野木 幸雄、石合 ゆみ 海さくら
③15:45 ~15:55	タイトル	北根室ランチウェイの取り組み について	「現役ガイドも知りたい！ アウトドア講座」とは！
	発表者	大橋 勝憲 北根室ランチウェイ事務局	小林 有幹 然別湖ネイチャーセンター
④16:00 ~16:10	タイトル	減災教育 72 時間サバイバル 災害時に生き抜く力を学ぶ	地元小学校との環境教育活動 の報告
	発表者	長江 孝 こども共育サポートセンター	三名木 康之慎、中村 隆 自然教育促進会
⑤16:15 ~16:25	タイトル	水難時における「ういてまて」 のススメ	スウェーデンの自然学校 自然再生事業の事例
	発表者	齋藤 弘樹 水難学会	山本 草 当別エコロジカルコミュニティー
⑥16:30 ~16:40	タイトル	道内アウトドア専攻大学 の授業内容	道立青少年体験活動支援施設 ネイパルの紹介
	発表者	館脇 朝斐、伊藤 滉一郎 北海道教育大学岩見沢校アウトドア・ライフコース	安間 邦雄、長岡 滋雄、米山 宥歩 ネイパル砂川・厚岸・北見
⑦16:45 ~16:55	タイトル	はじめよう！Leave No Trace	富良野自然塾の取り組み
	発表者	徳田 真彦 北翔大学	中島 吾郎 富良野自然塾
⑧17:00 ~17:10	タイトル	北海道エコ・動物自然専門学校の 取り組みについて	ライフジャケットを広める Wear it!キャンペーン
	発表者	大塚 武 北海道エコ・動物自然専門学校	岸 浩明 Hokkaido Great Adventure

○ポスターセッション&展示（15題 ※オリエンテーション室・中庭）

※30日 15:15～17:15 は担当者による説明を行います。

※展示会場の開場時間は 30日 12:00～31日 15:00 です。空き時間に自由に見学できます。

タイトル	環境ポータルサイト「BLUESHIP」の活用について	T-1
発表者	小野木 幸雄、石合 ゆみ（海さくら）	
内容	私たちNPO法人海さくらは、湘南江の島のビーチクリーン活動を行っている団体で、12年間の活動で、「海のゴミは、山や街からやってくる」事を知りました。つまり山や街がキレイでないと海はきれいにならないので、日本の環境を守る活動を簡単に検索し、参加しやすくする環境ポータルサイト「BLUESHIP」を作りました。このサイトを使えば、アウトドア団体の皆様も、自分の団体を紹介したり、活動をPRしたりすることが出来ます。全てのサービスは無料で使うことが出来、特製ブルートングも差し上げております。「BLUESHIP」のご活用を是非宜しくお願い致します。	

タイトル	キャンパルジャパンのテント最新情報	T-2
発表者	山川 隆俊（キャンパルジャパン）	
内容	屋外でのテント展示と薪ストーブの実演。テントは、今季の人気モデル<ピルツ12>の展示。シングルポールのテント、小ぶりの12㎡のサイズで、従来からのピルツシリーズが持つ建て易さをそのままに、居住性やサイトレイアウトのし易さを重視したファミリーサイズのモデルです。	

タイトル	空中テントに泊まろう！エアテントの展示&体験	T-3
発表者	山田 敏也（エアロスミス/テントサイルジャパン東日本）	
内容	憧れだった！ 自然の中で秘密基地を作るテント「Tentsile（テントサイル）」	

タイトル	「子どもゆめ基金」について知ろう！	T-4
発表者	沖田 啓二（国立青少年教育振興機構）	
内容	「子どもゆめ基金」の概要や助成対象、申請方法など、「子どもゆめ基金」の担当者による説明や質疑応答のコーナーを設けます。助成金の申請を検討している方は是非お立ち寄りください。	

タイトル	「しかりべつ湖コタン」とは！	T-5
発表者	瀬川 芽衣（然別湖ネイチャーセンター）	
内容	大雪山国立公園、然別湖（しかりべつこ）。毎年冬になると全面結氷した湖の上に雪と氷だけでできた村が現れます。来シーズンで37回目を迎えるこのイベントは、この土地の寒さがあるからこそできる観光イベント。道内でも類を見ない完成度のアイスバーや、世界で唯一の氷上露天風呂など、地元民が日本に誇る歴史ある冬の祭典です。寒い冬だからこそ楽しめる景色や体験を、作製中のエピソードなども交えながらご紹介します。	

タイトル	自然体験活動指導者（NEAL）養成制度について	T-6
発表者	小林 孝之助（自然体験活動推進協議会）	
内容	自然体験活動指導者（NEAL リーダー、インストラクター、コーディネーター）について、講座の内容や資格取得の方法など、資料を使ってわかりやすく説明します。既に取得済みの方も、上位資格やその他の指導者養成講習の最新情報を聞きに来てください。	

タイトル	ジャパンアウトドアリーダーズアワード（JOLA）について	T-7
発表者	山田 亮（JOLA 運営委員会）	
内容	アウトドアで「未来の日本ための人づくり」を合言葉に、ジャパンアウトドアリーダーズアワード（JOLA、通称：ジョラ）では、優れた実績をもつアウトドアリーダーの方を表彰させていただき活動を行っています。人づくりにはリーダーの存在が不可欠です。リーダーの知識・技術・人間性・ビジョンを取り上げ、社会にアピールすることで、リーダーがさらに育つことにつながり、子ども達が質の高いアウトドア活動を楽しめる環境が日本に広がっていくと考えています。	

タイトル	スペシャルニーズなチャレンジをサポートするツール	T-8
発表者	武田 功 (Team Paramount Adventure) 若野 貴司 (そらぶちキッズキャンプ)	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・車いす登山をサポートし、一緒に体感する人カ ・ジップラインや屋外ブランコのハーネスとして使える ARC ハーネス 等々、『障がいがあるから』とあきらめるのではなく、どんな工夫をすればアウトドアチャレンジが実現できるか？そのようなアイデアが詰まった道具を紹介できればと思います。	

タイトル	道立青少年体験活動支援施設ネイバル厚岸の紹介	T-9
発表者	長岡 滋雄 (ネイバル厚岸)	
内容	釧路管内厚岸町にある青少年教育施設ネイバル厚岸は、北海道教育委員会の駐在社会教育主事と指定管理職員が協力して運営にあたっています。近隣に4つの国立公園と原生花園や湿原群などの豊かな自然、江戸時代に開かれた港町の街並みや歴史遺産、北方領土を望む海岸線など魅力あふれた自然資源に囲まれたネイバル厚岸の取組をご紹介します。	

タイトル	道立青少年体験活動支援施設ネイバル北見の紹介	T-10
発表者	米山 宥歩 (ネイバル北見)	
内容	ネイバル北見は施設の目の前に広がる雄大なサロマ湖でのカヌー体験や、天候に左右されない野外炊飯場でのカレーやジンギスカンなどの野外炊飯体験など、道東の自然を満喫できる施設です。	

タイトル	ドローン空撮をもっと身近に	T-11
発表者	兵頭 勝 (ボーンズ 映像部)	
内容	ご家庭で簡単に遊べるトイドローンから、普段あまり見かけることの少ない Pro 用の機体を展示します。又、これまでに撮影したサンプル動画も放映します。	

タイトル	不登校の子どもの自然体験活動「あめたんキャンプ」	T-12
発表者	安間 邦雄 (ネイバル砂川)	
内容	石狩管内の適応指導教室に通う小学校4年生から中学生までを対象に2泊3日のキャンプを行っている。不登校の子どもたちを対象としているため、札幌国際大学の協力を得て、きめ細かな支援体制をとっている。メインとなる活動は、約10km 歩行後に山頂から夕日を見るものである。大自然の美しさ、登山の達成感、多くの人との交流が、子ども達を変えていく。	

タイトル	北海道初の常設型プレーパーク「Co ミドリプレーパーク」	T-13
発表者	寺坂 崇 (まなびデザイン)	
内容	札幌市の補助事業として運営している子どもの体験活動の場 Co ミドリで実施されている、北海道初の常設型プレーパークを紹介します。都会の子どもたちが自然素材にふれる機会である日常のあそび場を提供することで、自然への関心と創造力や挑戦する意志を育成するほか、地域様々な方の居場所として活動を進めています。	

タイトル	モモくら流人材育成の仕組み	T-14
発表者	山崎 友加里、松原 昇平、櫻井 祐也 (登別自然活動支援組織モモンガくらぶ)	
内容	人材育成といっても、様々な形があると思います。モモンガくらぶでは、参加者が提供者としてステップアップするプロセスを経て、地域や外部のコミュニティなど、それぞれの立場の中で、提供者として活躍するボランティアがたくさんいます。今回はこのようなモモンガくらぶの目指す人材育成の仕組みを紹介します。	

タイトル	LOGOS：ロゴスの最新アウトドアギア紹介	T-15
発表者	佐藤 聡 (ロゴスコーポレーション)	
内容	2018年春リリース予定の最新型テント『AIR MAGIC テント』の展示・実演	

○選択ワークショップ（80分×12題、160分×4題）

会場/時間		I（9:00-10:20）	II（10:40-12:00）	III（13:00-14:20）
① サンゴの家	タイトル	プロガイドに学ぶ自然ガイド講座	ちょっとしたときに使える！ 屋内ワークショップ実践編	プロガイドに学ぶ自然ガイド講座
	ファシリテーター	島田 知明 然別湖ネイチャーセンター	中島 吾郎 富良野自然塾	島田 知明 然別湖ネイチャーセンター
② 大研修室	タイトル	体験を通じて学ぶ「Leave no trace」	地域DNA（歴史・文化・産業・誇り）を活用したインバウンド受け入れプログラムを考えよう	
	ファシリテーター	徳田 真彦 北翔大学	鈴木 宏一郎 北海道宝島旅行社	
③ 中研修室	タイトル	国際自然大学校に学ぶ自然学校の組織運営		ライフジャケットの種類と使用法を体験しよう
	ファシリテーター	桜井 義維英 国際自然大学校		岸 浩明 Hokkaido Great Adventure
④ 小研修室	タイトル	ロングトレイルの魅力を広めよう		自然体験活動指導者の活躍の場を広げるために
	ファシリテーター	佐伯 雅視 北根室ランチウェイ		小林 孝之助 自然体験活動推進協議会
⑤ プレイホール	タイトル	個別カスタマイズのアウトドアプログラム・スペシャルニーズなアウトドアチャレンジを創ろう！	ドローンを安全に活用するために	ドローンを安全に活用するために
	ファシリテーター	武田 功 Team Paramount Adventure	兵頭 勝、寺澤 正典 ボーンズ	兵頭 勝、寺澤 正典 ボーンズ
⑥ PC1	タイトル	川のリスクマネジメント入門	“点”と“点”を線にして、 本物のエコツアープログラムを作成しよう	
	ファシリテーター	新野 和也 どんころ野外学校	坂東 元、鈴木 悠太 旭山動物園	
⑦ PC2	タイトル	WMA 野外災害救急法 “Wilderness First Aid”実践	WMA 野外災害救急法 “Wilderness First Aid”実践	若手で語ろう！ ～アナタのホンネ～
	ファシリテーター	寺田 達也 ウィルダ'ネスマ'イカルアソシエイツ'ヤパ'ン	寺田 達也 ウィルダ'ネスマ'イカルアソシエイツ'ヤパ'ン	松原 昇平 モモンガくらぶ 花岡 和 国立日高青少年自然の家
⑧ 森の家/所外	タイトル	HOA の廃校活用 ノウハウ視察ツアー ※所外、子ども参加 OK！	環境教育パッケージ プログラム体験 ※子ども参加 OK！	環境教育パッケージ プログラム体験 ※子ども参加 OK！
	ファシリテーター	オキーフ 尚実 北海道アウトドアアドベンチャーズ	二杉 寿志 おたる自然の村公社	二杉 寿志 おたる自然の村公社

※色付きは同内容で2回実施

選択ワークショップについては、事前に希望内容を確認し、人数を調整させていただきます。
次ページ以降の発表要旨をお読みにになり、ウェブサイトの選択フォームにて、各時間帯の第1～第3希望まで選択してください。選択期限 10/20（金）まで

URL：<https://www.niye.go.jp/entry/app/event/apply/1312>

※ 期限を過ぎると申込フォームからは選択できません。

※ 希望の選択が確認できない場合、空き状況を見てこちらで割り振らせていただきます。

○体験型ワークショップ（80分×10題）

タイトル	プロガイドに学ぶ自然ガイド講座	WI-①
ファシリテーター	島田 知明（然別湖ネイチャーセンター）	WIII-①
内容	<p>自然ガイドには、自然に対する知識だけではなく、伝える技術、心配りなど沢山の要素が求められます。</p> <p>回ごとに、参加者の皆さんが一番知りたいことをテーマに選び、ワークショップを進めていきます。</p> <p>参加者皆さんの着目点、興味を共有し、新たな視点、知識、表現を見つけます。</p>	

タイトル	体験を通じて学ぶ「Leave No Trace」	WI-②
ファシリテーター	徳田 真彦（北翔大学）	
内容	<p>Leave No Trace(LNT)とは、自然を利用するすべての人が、環境に対する責任を持ち、楽しく利用するための環境配慮プログラムです。すべてのテクニックが7つの原則をもとにしており、誰にでもわかりやすく、楽しく実現する事ができます。本ワークショップでは、7つの原則について学び、後半は参加者が更に学びを深めたいと思う原則について体験を通じて学ぶ時間とします。</p>	

タイトル	個別カスタマイズのアウトドアプログラム スペシャルニーズなアウトドアチャレンジを創ろう！	WI-⑤
ファシリテーター	武田 功（Team Paramount Adventure）	
内容	<p>障がいや病気とともに生きる人たちのアウトドアチャレンジの実践例を紹介しながら、個別のニーズに答えるアウトドアプログラムをみんなで一緒に考えます。スペシャルニーズとは特別な配慮という意味ですが、野外で遊ぶときには、病気や障がいへの配慮、支援のみではなく、年齢、家族環境、参加する時の気持ち、好き嫌い、得手不得手、趣味趣向等色々なものが大きく関わります。このワークショップを通していつものプログラム立案とはちょっと違った視点をみなさんに投げかけられたら嬉しいです。</p>	

タイトル	川のリスクマネジメント入門	WI-⑥
ファシリテーター	新野 和也（どんころ野外学校）	
内容	<p>川での活動を行う時に必要となる水力学を知る事でどこが体験活動に適しているのか、何がどうして危険なのか、を理解する事が出来ます。そしてアクシデントが合った時の対処法や必要な装備を紹介しながら川でのリスクマネジメントを学んでいきます。</p>	

タイトル	WMA 野外災害救急法“Wilderness First Aid”実践	WI-⑦
ファシリテーター	寺田 達也（ウルトラ・トレイル・アドバイザー・WMAJ）	WII-⑦
内容	<p>野外活動で発生した事故では、救急車の到着に時間がかかる場所が多くあります。あるいは、「119番できない」ということも。</p> <p>WMA 野外災害救急法は長時間現場で看護しなければならない人のための画期的な救急法です。このワークショップでは、カリキュラムの中から一部を抜粋し、実際に野外のフィールドで使える知識技術をお届けしながらこうした状況を考えていきましょう。</p>	

タイトル	HOA の廃校活用ノウハウ視察ツアー ※所外、子ども参加OK！	WI-⑧
ファシリテーター	オキーフ 尚実（HOA 北海道アウトドアアドベンチャーズ）	
内容	<p>平成 10 年 3 月に閉校になった千栄小学校。翌月より、そのままの状態、ラフティングベースとして、日高町から借受けました。学校の雰囲気を残したまま、快適にゲストに使っていただくにはどうしたらいいのか？ 20 年を経て、廃校はどのように変身したかをご覧ください。※会場まで車で 10 分程度移動します。</p>	

タイトル	ちょっとしたときに使える！屋内ワークショップ実践編	WII-①
ファシリテーター	中島 吾郎（富良野自然塾）	
内 容	<p>屋内で行う楽しいワークショップをいくつかご紹介します。仕切り側のポイントなど、実践を交えて行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加型イベントのアイスブレイク ・荒天時のバックアッププログラム <p>としてご活用いただける他、ガイドの統率力/表現力アップに繋がれば幸いです。</p>	

タイトル	ドローンを安全に活用するために	WII-⑤
ファシリテーター	兵頭 勝、寺澤 正典（ボーンズ）	WIII-⑤
内 容	<p><座学></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドローンを飛行させる為の禁止事項等（15分～20分） <p><体験会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・10分位を目処に、DJI 初心者講習に近い内容で飛行体験をしていただきます。 <p>※体験時間等は当日申込人数により変更する場合があります</p>	

タイトル	環境教育パッケージプログラム体験 ※子ども参加OK！	WII-⑧
ファシリテーター	二杉 寿志（おたる自然の村公社）	WIII-⑧
内 容	<p>さまざまな依頼やプログラムの作成、アイデアや実施したい体験など、活動しているみなさん。また、これからいろいろはじめるみなさん。「まずはやってみよう」「深く考えてほしい」「活動前の導入」「企画書の作成」いろいろな使い方が出来るパッケージプログラムちょっと知ってみませんか？</p> <p>最近の情報なども含めプログラムを体験しながらパッケージプログラムの使い方を考えて見ましょう。</p>	

タイトル	ライフジャケットの種類と使用法を体験しよう	WIII-③
ファシリテーター	岸 浩明（Hokkaido Great Adventure）	
内 容	<p>水辺でライフジャケットを正しく着用するために必要な知識や、様々なフィールドで活躍するために、どのような種類があるのか？ 実際に着用して、ライフジャケットの正しい着用方法や必要性を実体験していただきます。また、国際的にライフジャケットはどのように分類されているか、日本国内ではどのように分類しているかを学んでみましょう。当日はインフレーター（膨張式）ライフジャケットを実際に膨らます体験をしてみましょう。</p>	

○創造型ワークショップ（80分×2題、160分×4題）

タイトル	国際自然大学校に学ぶ自然学校の組織運営（160分）	WI・II-③
ファシリテーター	桜井 義維英（国際自然大学校）	
内 容	<p>超実践的・組織運営ワークショップをおこないます</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、事前アンケートで各参加者の置かれている状況や課題を把握します。 2、ワークショップは個別相談会とします。この個別相談は、他の参加者への公開で行います。 3、参加者ひとり（1団体）につき10～15分の相談とします。 <p><何故このような相談会にするか></p> <p>ワークショップで、色々な団体の課題を集約していくと、一般論となります。「広報」「企画（プログラム開発）」「財源」「人材」ほぼこれに集約されます。長い間そのようなワークショップをしたり見たりしてきて、どれだけの団体が、その結果、変化できたでしょうか。</p> <p>多くの団体が、なかなか変われずにいます。それは、核論に踏み込んだ指摘がされていないからだと思います。今回は各団体の事情を拝聴し核論に踏み込みたいと思います。</p> <p>また、国際自然大学校や、千葉自然学校、青少年教育施設の運営を通しての独断的指摘になりますので、ご了解ください。</p>	

タイトル	ロングトレイルの魅力を広めよう（160分）	W I・II-④
ファシリテーター	佐伯 雅視（北根室ランチウェイ）	
内 容	「ロングトレイル」は、その土地の自然だけではなく、歴史や文化に接することができ、地元の人々との出会いが待っている歩く旅の醍醐味を満喫できる1本道で、日本全国に広がりを見せています。本ワークショップでは、北海道の代表的なロングトレイルである「北根室ランチウェイ」の魅力を掘り下げ、地域の協力体制のつくり方やトレイル整備の取り組みなどを学び、今後、アウトドア業界や観光業界を支える可能性を持つロングトレイルの展開方法や新しいトレイルの開拓などを考えていきたいと思います。	

タイトル	地域DNA（歴史・文化・産業・誇り）を活用したインバウンド受け入れプログラムを考えよう（160分）	W II・III-②
ファシリテーター	鈴木 宏一郎（北海道宝島旅行社）	
内 容	訪日外国人観光客を2020年に4000万人、その消費額を8兆円とすることは、日本が豊かな生活を維持するための国策です。そのためには地域で滞在交流できるプログラムの造成が必須～私たちの出番！！ 地域ならではのインバウンド受け入れプログラムの作成に取り組みしましょう。道内の先進事例をたくさん紹介します。素敵なプログラムが出来たら、北海道宝島旅行社が全世界に向けてプロモーションします！	

タイトル	“点”と“点”を線にして、本物のエコツアープログラムを作成しよう（160分）	W II・III-⑥
ファシリテーター	坂東 元、鈴木 悠太（旭山動物園）	
内 容	旅行者は、それぞれの団体を横断的に体験していますが、それぞれの体験につながりがないことが多いです。その“点”で行っていた体験に一つの視点を加え、連動した体験にすることで、より楽しく、より学べて、より心に残るプログラムを作ることができるのではないのでしょうか。 “自然”というキーワードの枠内でそれぞれの団体の資源（動物園なら動物観察など）の中での共通点を探し、連携プログラムを作り、本物のエコツアーの作成を目指します。	

タイトル	自然体験活動指導者の活躍の場を広げるために（80分）	W III-④
ファシリテーター	小林 孝之助（自然体験活動推進協議会・CONE）	
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・自然体験活動指導者の資格は取ったけど、活用できていない ・自然体験活動指導者の力を借りて、事業を実施したい ・こんな教材がほしい、研修会を開きたい そんな皆さんが集まることで、現状から一歩踏み出すための具体的な議論（具現化）を行います。	

タイトル	若手で語ろう！～アナタのホンネ～（80分）	W III-⑦
ファシリテーター	松原 昇平（登別自然活動支援組織モモンガくらぶ） 花岡 和（国立日高青少年自然の家）	
内 容	各業界で活躍されている若手の皆様。皆さんが今抱えている様々な問題を考え、それぞれの目指すべき姿やそのためにやるべきことなど、たくさんの意見を持ち出して、ヒントを探します。北海道で活躍する若手職員がつながり合い、新しいシーンを盛り上げるきっかけをつくりませんか。	

事務局より

本フォーラムについての最新情報は、facebook ページに随時アップしています。アカウントをお持ちの方は、「いいね！」およびシェアをお願いします。 URL：www.facebook.com/h.o.forum

それでは当日、皆様にお会いできることを楽しみにしております。

お子様同伴での参加について

お子様連れの方にも気兼ねなく参加してほしい！ 小さな子どもでも楽しめるプログラムを伝えたい！ というスタッフの想いから、フォーラム期間中、森の家をキッズルームとして開放し、子どもたちが自由に遊べる場所にします。

また、保護者の方だけで参加したいプレゼンテーションやワークショップがある場合、スタッフによる一時預かりも行いますので、ご相談ください。

一部のワークショップはお子様連れでもご参加できますので、気兼ねなくご参加ください。

お部屋もご家族での宿泊を希望される場合、家族部屋をご用意しますので、申込時に特記事項にてお知らせいただくか、事務局までご連絡ください。

講師室の利用について

本フォーラムでは、参加者間の交流が大きな目的の一つですので、立場・年齢にかかわらず、相部屋での宿泊が基本となります。

ただし、持病がある、他の参加者に迷惑をかけたくない、などの事情で個室を希望される場合、講師室をご用意します。申込時に特記事項にてお知らせいただくか、事務局までご連絡ください。

講師室の数には限りがありますので、満室の場合はご容赦ください。

Q&A

よくある質問をまとめましたので、ご参照ください。

Q. 日帰りでの参加や部分参加は可能ですか？

A. 日帰りでの参加は可能です。申込み時に参加日程を選択してください。情報交換会のみ、ひとつのワークショップのみといった部分参加は基本的にお断りしています。特別な事情がある場合、事務局にお問合せください。

Q. 前泊の際、夕食の注文は可能ですか？

A. 29日（日）の夕食については食堂が休みのため、各自でご用意していただくか、町内の飲食店等で食べていただくようお願いいたします。所内ラウンジおよび宿泊棟での飲食は可能です。

Q. 車いすでの参加は可能ですか？

A. 可能です。バリアフリーの宿泊室（浴室・トイレ付）をご案内しますので、申込時に特記事項にてお知らせいただくか、事務局までご連絡ください。野外でのワークショップを希望される場合、詳細について事前にご相談ください。

Q. 延泊（または前泊）して周辺観光や体験をしたいのですが。

A. 10/29（前泊）、10/31（後泊）以外の宿泊については、別途申込手続きが必要です。また、施設の利用規約上、2名以上の宿泊が条件となります。申込手続きについては、下記URLをご参照ください。<http://hidaka.niye.go.jp/annai/info1.html> ※10/20まで受付

Q. 食物アレルギーの対応を教えてください。

A. アレルギー品目の種類や程度によって、①自己除去、②代替食提供、③食事持参のいずれかの対応になります。②については事前に栄養士との相談が必要ですので、申込時に特記事項にてお知らせいただくか、事務局までご連絡ください。

<その他お問合せ、ご連絡先>

国立日高青少年自然の家（担当：鈴木、中西、山口）

電話：01457-6-2311 メール：hidaka-hp@niye.go.jp